

コラム

10年間お世話になりました

東本 武信（一般財団法人 新技術振興渡辺記念会 元技術参事）

一般財団法人新技術振興渡辺記念会（以下財団）創立35周年、誠におめでとうございます。

私は平成18年7月から本年3月まで、約10年間事務局に勤務をいたしました。この間、調査研究助成事業と不動産管理を担当しました。印象深い出来事を記して周年誌への寄稿文といたします。

平成18年度は財団の事業が大幅に拡大された年であり、調査研究助成事業も予算ベースで従来より桁違いの大きいものとなり、事業拡大に伴う事務処理体制の整備を急速に行う必要がありました。それまでは扱う応募課題数が少なく紙ベースでの処理で十分対応できていたのですが、予算増に伴い応募・採択件数が増え作成する書類の量が急増することに対応して、募集業務から審査、理事会承認、助成金交付、終了報告関係まで一連の事務処理を全面的にパソコンによるデータベース化をおこないました。これにより多種多様な一連の事務処理が、様式等のフォーマットとエクセルベースのデータとの組み合わせで時間をかけることなく作成できるようになりました。

助成課題の成果報告会につきましても、採択されて発表していただく課題が増える中、会場の方からは後の使用予定があるため終了予定時間の厳守を求められ、一人当たりの持ち時間を厳しく制限する必要があり、限られた時間で発表を済ませていただくために従来にない工夫が必要でした。対応として、発表者から発表の1週間前までに発表用のパワーポイントを当方に提出いただき、内容をチェックすることとしました。盛りだくさんの内容の力作を寄せられる方が多く、発表の持ち時間内に収めることが困難と判断した方には具体的に修正を依頼、また、スピーチ次第で持ち時間オーバーとなりそうな方には事前のリハーサルを確認をしていただくよう依頼をする対応を取りました。そのほかにも細かい配慮と関係の方々のご協力を得て、円滑な成果報告会の運営がなされてきております。

平成18年8月に財団は新たに浜松町に移転していますが、これは6件のテナントを擁する8階建てのオフィスビル（浜松町NHビル）です。数年後には隣接するオフィスビル（同別館）を購入し、合わせて10件のテナントを擁するオーナーとして、入退去や賃料徴収等の対テナント対応や防火防災、建屋の維持等の不動産管理業務を担当しました。当初は手探りの状況でしたが、関係各位のご協力を得る中で財団の資金運用の一助として軌道に乗せることができました。

特筆すべき事柄としては、平成21年3月のある月曜日に出勤すると大変な事態が発生していました。2日前の土曜日の夜から7階のトイレの洗浄水の開閉弁が作動せず出っ放しとなり、流れ出した水で7階から下3階までのフロア全体が水浸しとなってしまっていたのです。原因調査と応急対策恒久対策の検討実施、各テナントに事態の説明と発生被害状況の把握と復旧対応、工事業者とは天井や床の復旧工事の指示、火災保険の対象であったことから保険会社との折衝等、普通では経験しえない思い出深い経験をいたしました。

10年余の勤務期間中、事務局長はじめ関係各位には大変お世話になりました。無事勤め上げて今般退職いたしました。在職中のご指導ご協力を改めまして深く御礼申し上げます。また、財団が更なる発展をされることを祈念いたしております。